

経営学部 経営学科 専門教育科目 体系図

科目群の学習目標・到達目標

■経営学分野における基本的な思考様式を理解する
 ・大学での学習およびその延長線上にある社会生活では、知識の蓄積に加え、知識を創り活用する技能が要求されることを理解し、大学での学びを一通り学習します。
 ・経営とは何か、経営学をなぜ学ぶのか、会社を運営するためには経営学の知識が必要であることについて理解します。
 ・複式簿記の基本原則(貸借複記)と期首から期末までの流れ(簿記一巡の手続き)、会計学の基礎概念を学習します。

■経営学を構成する各学問分野について理解する
 専門教育を体系的に学習するうえでの基礎となる各総論を学びます。
 ・経営学の基本的な概念を理解し、専門的なカリキュラムに進むために必要な知識、技能、能力を身に付けます。企業、組織、株式会社、日本の経営、経営活動のグローバル化、企業の社会的責任などの経営基本概念を把握します。
 ・経営管理の概念的アプローチをベースに、経営管理(マネジメント)に関する諸理論を理解し、自ら考察できる能力を高めます。
 ・利他的行動への理解を深め、社会の公器であるべき企業の経営にそれがどのように生かされているのかを知り、それを基盤とした日本企業の利他共生の理念やその実践を学習します。

■経営学分野の体系全般について学習する
 ・企業を主とした社会の中の組織をイメージできるようになり、社会システムの基本、働くことの基本、経営用語、組織用語の基本などを理解し、組織の中の個人、組織と個人の間を関係を考える機会になり、具体的なイメージができるようになります。
 ・実際の企業の事例から経営課題を把握し、その内容を分析し、それを総合的に解決するための能力を身につけます。
 ・日本経済の発展と中小企業政策の関係を理解し、中小企業の経営管理の特徴および中小企業が抱える諸課題をします。
 ・起業から安定成長にいたるまでに直面する経営上の課題を理解し、新しいアイデアの発想法、問題解決の方法などを学習し、実践できるようにします。
 ・企業の国際経営活動をめぐる様々なビジネス課題を経営理論や事例を通じて学習し、国際経営についての様々な課題を論理的に分析します。
 ・企業と利害関係者の関係性を理解した上で、社会に対する企業の社会的責任の意義を論理的に分析します。
 ・各分野で発生している環境問題の本質を理解し、課題と解決策について、各分野の企業の対応策を学修します。

■流通・マーケティング分野の体系全般について学習する
 ・マーケティング論の基本的内容を理解することにより、現在企業がマーケティングをどのように実践しているかを把握します。さらに、サービス化が進展する現代の経済社会の仕組みと、サービスマーケティングにかかわる様々な概念や分析枠組みとを理解します。
 ・企業におけるメディアを通じたPRを具体的に学びます。
 ・小売業における販売管理の基礎的な内容を習得します。
 ・物流・ロジスティクスならびに、サプライチェーンマネジメントについて、流通、マーケティング、経営戦略論と関連付けて理解します。

1年	
前学期	後学期

入門セミナーⅠ 2 入門セミナーⅡ 2

経営学入門 2

簿記・会計入門 2

流通と商業 2

経営学総論 2

2年	
前学期	後学期

経営管理総論 2

経営史②

経営組織論②

経営戦略論②

人的資源管理論②

財務管理論②

生産管理論②

国際経営論②

社会と企業② 経営倫理論②

エコビジネス論②

スポーツビジネスⅠ②

マーケティング総論Ⅰ② マーケティング総論Ⅱ②

3年	
前学期	後学期

利他共生の経営 2

組織行動論②

ナレッジマネジメント②

経営戦略演習②

人材開発論②

中小企業論② ベンチャー起業論②

環境経営学②

スポーツビジネスⅡ②

サービス・マーケティング②

広告論②

パブリック・リレーションズ②

消費者行動論②

販売管理論②

ロジスティクス論②

4年	
前学期	後学期

■会計・情報学分野の体系全般について学習する ・企業における簿記にあつて、特に応用範囲の広い商業簿記と工業簿記の基礎について理解をすすめ、基本的な仕訳ができる力を身につけます。 ・財務諸表の仕組みについて理解し、会計数値を用いて経営分析する方法を学びます。 ・流通業と製造業の基本的な業務とその情報システムの概要を理解し、企業における情報システムがどのような働きをしているか、最新機能の概要を学びます。 ・デジタル形式の情報を中心として、それら処理する情報通信技術の考え方と特徴を理解し、現在の情報社会での影響と可能性を考えます。	簿記Ⅰ②	簿記Ⅱ②	簿記Ⅲ②	簿記Ⅳ②				
			財務会計論②					
				管理会計論②		経営分析論②		
		経営情報論②	コンピュータ会計②					
■政治・経済・社会・企業経営等に関連する知識を修得する 経営学を学ぶ上で必要とされる経済学関係科目、企業における人間関係を理解し、コミュニケーション能力を修得します。 ・戦後の日本経済のキーワードを手掛かりに日本経済の現状について理解し、経済における法律の基本的な意義を理解します。 ・金融に関する重要概念について、経済活動や日々の暮らしの視点から事例等も含め多面的に学習し、実践的理解を深めます。 ・産業、人口、グローバル等の視点から地域経済の現状と諸課題を概観し、国や自治体による政策の流れと課題解決に向けた地域の取り組みについて理解します。 ・現在の働く環境を理解し、社会的・職業的自立に向けて必要な知識と能力を身につけます。	情報処理論②	情報管理②	経営情報システム論②					
						e-ビジネス論②		
		コミュニケーション論②				デジタルメディア論②	ICT論(情報通信技術論)②	
			日本経済論②	経済学②			国際経済論②	
■自ら課題を発見し、課題を解決する能力を修得する グループ討議、事例研究、現地調査などの実践的な授業方法により、専門科目の各分野で学んだ知識と技能を基に、総合的な応用能力を修得するとともに、実務を行うための実践的手法を身につけます。 ・学修のテーマを決定し、資料収集をしながらグループ討議を行い、プレゼンテーション能力を向上させます。 ・提示されたテーマについて、学修した手法を活用し調査研究をします。			アジア経済事情②			金融論②		
							地域社会論②	
			企業研究特別講義②					地域産業振興論②
				埼玉の企業研究②				経済活動と法②
■実践的に学習するシステムを構築する 理論のみならず具体的な実行力を伴った人材となるため、理論と実践の有機的な結合により、座学で得た知識を基に、経営活動の現場を観察し、現場で体験し、成果を報告します。 ・経営学の様々な理論が、実際の経営現場ではどのように活かされているのか、あるいは活かしているのかを理解するとともに、それら実際の企業・団体の活動においてどのように活用できるか、検討し提案(実践)します。 ・インターンシップを通じて職業に関する知識を修得し、キャリア形成に結びつけます。 ・他国の社会や文化、宗教等を体験・学習することで、ビジネスのグローバル化に対応できるマナーや対人能力といった社会常識を身につけます。 ・国内の自治体、学校、組織において、本学部生が自主的かつ積極的にボランティア活動に参加し、地域社会への貢献を通してボランティアの心得を体得します。 ・質的研究法としてのフィールドワークの手法を学びながら地域の企業活動を調査研究します。	企業経営研究Ⅰ 2	経営専門演習Ⅰ 2	経営専門演習Ⅱ 2	経営専門演習Ⅲ 2	経営専門演習Ⅳ 2	卒業研究 4		
					企業経営研究Ⅱ②	企業経営研究Ⅲ②		
						インターンシップ②		
			短期海外研修②					
			ボランティア研修②					
			フィールドワーク④					